

## 事業評価書

補助事業名	通信施設:共同受信施設改修事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市祇園15-31他86箇所				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市では、入間飛行場に飛来する航空機を原因とするテレビ受信困難地域において、都市型CATV対応施設整備により、受信困難地域のテレビ視聴環境を整備してきており、今後も引き続き当該施設を維持していくことが求められている。</p> <p>しかし、当該施設を構成する鋼管柱及びケーブルの一部においては老朽化が著しく、平成25年9月に鋼管柱が腐食により倒れたことで、家屋の外壁を直撃し、損傷を与えた。その後、鋼管柱の状態調査を実施したところ、鋼管柱の腐食が確認されたことから、順次、鋼管柱の撤去及びケーブルの張替を実施する。撤去後の鋼管柱の新設は行わず既存の電柱に共架することとすることにより、民地、住宅密集地に存在する鋼管柱が無くなり、住民の安全の確保を図ると共にケーブルの張替により、視聴環境の維持を図る。</p> <p>【参考指標】 市所有鋼管柱 353本(平成28年8月時点)</p>				
補助事業の内容	鋼管柱の撤去及びケーブルの張替				
補助事業の始期及び終期	平成28年度				
事業費及び交付金額		27年度以前	28年度	29年度以降予定	計
	事業費	円	円 30,250,800	円	円 30,250,800
	交付金額	円	円 27,965,000	円	円 27,965,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 周辺住民にアンケート調査を実施した結果、改修前には約3割の住民が日常生活において不安等を感じていたが、改修後にはそのような住民のほとんどから不安等が解消されたという回答が得られ、また、視聴環境が維持されていない等の回答は1件もなかったことから、周辺住民の安全確保及び視聴環境の維持が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び市公式ホームページに掲載</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>受信困難地域内の住民の安全確保及びテレビ視聴環境の維持から計画的に改修事業を図って行く。</p> <p>周辺住民への工事周知チラシに記載する。</p> <p>工事中の看板に記載する。</p>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	消防に関する施設:防災備蓄倉庫購入				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市中央4丁目17番1号 他3箇所				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市では、市内に所在する指定避難所等において、防災備蓄倉庫を設置し、災害発生時における応急対策活動を円滑に行うため、当面必要な食料、生活資材、活動用機材等を備蓄している。しかし、既存のコンテナ式防災備蓄倉庫については、設置後30年以上が経過し、老朽化に伴う損傷が著しい状況である。</p> <p>そこで、平成32年度を目標に老朽化したコンテナ式防災備蓄倉庫を、蓄電池機能を備えた太陽光発電設備やLED照明、換気扇、非常用コンセントなどを備え付けたコンテナ式防災備蓄倉庫に更新整備を進めるとともに、土砂災害警戒区域等の指定に伴い新たに指定避難所となる施設にコンテナ式防災備蓄倉庫を設置し、迅速な物資供給体制を整備することにより、多くの避難者を収容する指定避難所における防災機能、自立機能の強化を図る。</p> <p>なお、本年度は既存の防災備蓄倉庫4箇所を更新する。</p> <p><b>【参考指標】</b>  ・コンテナ式防災備蓄倉庫設置箇所数  既設箇所数 26箇所／計画箇所数 31箇所</p>				
補助事業の内容	防災備蓄倉庫の購入(更新:4箇所)				
補助事業の始期及び終期	平成26年度から平成32年度				
事業費及び交付金額		27年度まで	28年度	29年度以降予定	計
	事業費	円 42,163,146	円 14,243,472	円 75,026,380	円 131,432,998
	交付金額	円 37,170,000	円 14,000,000	円 60,021,104	円 111,191,104
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]  今年度の整備が完了したことで、市のコンテナ式防災備蓄倉庫更新・新規設置計画の達成割合は17箇所(54.84%)と全体の半数を超えていることから、指定避難所における防災機能、自立機能の強化が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]  ・倉庫扉に防衛省の交付金を活用して設置した旨を掲示  ・市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」で周知</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道幹第41号線改良舗装工事				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 広瀬東1丁目・広瀬東3丁目 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は川越市境を起点として市の中心部、国道16号線及び入間川を横断し、隣接する日高市に抜ける幹線道路として40年前に整備された重要な路線である。</p> <p>近年では隣接するつつじの団地の完成に伴う路線バスの運行や狭山工業団地を利用する大型車による交通量が増加し、舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b> 既設幹線道路にかかる今後3年間の舗装改修計画 3路線/延長:4014m※ ・うち当路線の計画延長:333m(※に対する割合8.3%) ・うち平成28年度整備延長:333m(※に対する割合8.3%)</p>				
補助事業の内容	<p>全体工事延長 L=1738.4m (H27年度まで L=1405.4m) (H28年度 L=333m) 道路幅員 W=10.0m 舗装工 一式</p>				
補助事業の始期及び終期	平成23年度から平成28年度				
事業費及び交付金額		27年度以前	28年度	29年度 以降予定	全体
	事業費	円 139,655,895	円 17,691,480	円 0	円 157,347,375
	交付金額	円 121,500,000	円 17,000,000	円 0	円 138,500,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 当初の計画通り事業を完了したこと、並びに、地域住民等へのアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善されたとの回答が得られたことから、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	<p>平成23年度より6年間の事業であり、本年度が事業最終年度であるが、アンケート内に以下のような意見も散見されたことから、今後類似の工事を行う際には、今回のアンケート調査等を踏まえて行いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・騒音/振動に対する苦情には、対応する重機の選定や走行速度の更なる抑制</li> <li>・交通規制に伴う渋滞は、事前予告による迂回を促し交通量の少ない夜間など、施工時間の検討</li> </ul>				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:市道A第141号線外3線改良舗装				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市 大字加佐志 地内				
補助事業の成果の目標	<p>本市では、既設幹線道路の舗装の劣化に対し、計画的に改良舗装工事を行い、交通の安全性、生活環境の改善を行っている。</p> <p>当路線は川越市境を起点として市の中心部、国道16号線及び入間川を横断し、隣接する日高市に抜ける幹線道路として40年前に整備された重要な路線である。</p> <p>近年では都市計画道路東京狭山線の開通や最寄駅から2kmの立地条件から宅地開発は進み、人口及び車両交通量も増加。舗装の劣化による破損が著しく車両走行の安全性の低下や、交通騒音・振動等に伴う地域の生活環境の悪化等が生じている。</p> <p>そこで、舗装を打ち替えて平坦性を確保することで、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b>  既設幹線道路にかかる今後3年間の舗装改修計画  3路線/延長:4,014m※  ・うち当路線の計画延長 : 946m(※に対する割合23.6%)  ・うち28年度整備延長 : 440m(※に対する割合11.0%)</p>				
補助事業の内容	全体工事延長 L=2,060m (H27年度まで L=1114.0m) (H28年度 L=440.0m) (H29年度以降 L=506.0m) 道路幅員 W=8.0m 舗装工 一式				
補助事業の始期及び終期	平成24年から平成30年度				
事業費及び交付金額		27年度以前	28年度	29年度以降予定	計
	事業費	円 68,507,143	円 25,510,680	円 38,482,177	円 132,500,000
	交付金額	円 59,800,000	円 24,000,000	円 29,200,000	円 113,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	〔補助事業の成果及び評価〕 当初の計画通り事業を完了したこと、並びに、地域住民等へのアンケートの結果、路面の平坦性、騒音及び振動等が改善されたとの回答が得られたことから、交通の安全性や地域住民の生活環境の向上が図られたと判断する。 〔地域住民への周知の実施状況〕 工事のお知らせ、工事看板、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び狭山市公式ホームページに調整交付金活用事業であることを掲載				
事業の改善措置及び今後の対応	平成24年度より7年間の事業であり、平成24年度から平成28年度の整備完了区間において、交通の円滑化及び走行性の向上が得られたことから、今後も引き続き舗装の打ち替えを進め、地域の環境改善に努めていく。 また、アンケート結果のその他の項目において、要望や指摘などの意見もあることから、今後の対応について事業内容の改善を図りたい。 ・騒音に対する要望には、対応する重機の選定や走行速度の更なる抑制 ・交通規制に伴う渋滞は、事前予告による迂回を促し交通量が少ない夜間など施工時間帯の検討				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	交通施設:道路維持作業車購入事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市入間川1-23-5				
補助事業の成果の目標	<p>狭山市の道路維持作業車は、道路施設等の維持管理作業のためにほぼ毎日使用し、道路交通の安全を確保している。</p> <p>更新を予定している道路維持作業車は購入してから15年経過しており、老朽化が著しく、故障する回数も多く、このままだと運用に支障を来しかねない。</p> <p>そのため、老朽化した車両の更新を行い、道路施設等の安定的な維持管理と、道路陥没や災害時の緊急対応に備えることで、市民の道路交通の安全と生活環境の安定を図る。</p> <p>【参考指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路維持作業件数 約1,680件(平成27年度)</li> </ul>				
補助事業の内容	道路維持作業車1台購入				
補助事業の始期及び終期	平成28年度				
事業費及び交付金額		27年度以前	28年度	29年度以降予定	計
	事業費	円 0	円 3,076,920	円 0	円 3,076,920
	交付金額	円 0	円 3,000,000	円 0	円 3,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価]</p> <p>道路維持作業件数データのうち、市民からの要望対応件数と、職員による道路パトロール対応件数を前年度の10月から11月と比較したところ、市民からの要望対応件数は減り(平成27年度149件→平成28年度128件)、道路維持作業車買い替えにより、パトロール対応件数は増加している(平成27年度133件→平成28年度146件)ことから、機動力が強化している。よって市民の道路交通の安全と生活環境の安定を図ることができたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>車体に交付金事業であることを明記</li> <li>基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」及び公式ホームページに掲載</li> </ul>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	スポーツ又はレクリエーションに関する施設:智光山公園施設改修事業				
補助事業者名	狭山市				
実施場所	狭山市柏原地内				
補助事業の成果の目標	<p>智光山公園は、狭山市の北部に位置する約53.8ヘクタールの敷地を有する都市公園であり、園内にこども動物園、市民総合体育館、都市緑化植物園、釣場、アスレチック等が整備され、市内外の利用者により利用されている。</p> <p>このうち、老朽化が著しいアスレチック遊具においては、一部の遊具を除き利用を制限している状況となっており、利用者から改修を望む声が寄せられている。</p> <p>そのため、アスレチック遊具を改修することにより、都市公園利用者が快適に利用できる環境を整え、市民のレクリエーションの充実を図る。</p> <p>【参考指標】 智光山公園利用者数 平成27年度 653,843人</p>				
補助事業の内容	遊具改修 3基				
補助事業の始期及び終期	平成27年度から平成30年度				
事業費及び交付金額		27年度以前	28年度	29年度以降予定	計
	事業費	円 18,584,640	円 8,316,000	円 25,989,120	円 52,889,760
	交付金額	円 15,600,000	円 6,000,000	円 20,700,000	円 42,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 アスレチック遊具について、多数の利用者より「子ども達が楽しんで遊んでいる」との声を頂いている。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 地域住民への周知は、公園内施設にチラシ等の配置、「狭山市の基地対策」及び市ホームページへ掲載。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	無				
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				

## 事業評価書

補助事業名	医療に関する事業:予防接種助成事業									
補助事業者名	狭山市									
実施場所	狭山市内医療機関									
補助事業の成果の目標	<p>予防接種法に規定されている麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)は感染力の強い疾患であり、その最も有効な対策は発生の予防であり、その手段として、予防接種により免疫を獲得することが重要とされている。</p> <p>本市では、予防接種に要する費用を負担することなく、接種を受けられる環境を整備するとともに、市民に向けて適切な情報提供を行っており、対象者の9割以上が接種を受けている状況である。そこで、本事業を継続して実施し、麻疹(はしか)・風疹(三日はしか)の発生の予防及びまん延の防止に取り組むことで、市民の健康増進を図る。</p> <p>【参考指標】 平成27年度接種対象者数:2,217人</p>									
補助事業の内容	麻疹・風疹予防接種費の助成									
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成23年度から平成33年度 基金の処分:平成24年度から平成33年度									
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額		
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益				計	
		円	円	円	円	円	円	円	円	円
	23	62,216,000				62,216,000		62,216,000		
	24	72,468,000				72,468,000	40,000,000	94,684,000	46,154,905	
	25	56,009,000				56,009,000	25,000,000	125,693,000	26,070,500	
	26	25,000,000				25,000,000	25,000,000	125,693,000	25,407,839	
27	10,000,000				10,000,000	24,000,000	111,693,000	24,437,997		
28	29,749,000				29,749,000	24,000,000	117,442,000	24,657,396		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 麻疹・風疹の予防接種助成事業は、平成28年度も接種対象者の9割以上が予防接種を受けていることから、市民の健康増進が図られたと判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 「健康カレンダー」、狭山市公式ホームページ、「狭山市の基地対策」に特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用している旨を掲載</p>									
事業の改善措置及び今後の対応	無									
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無									

## 事業評価書

補助事業名	教育、スポーツ及び文化に関する事業:中学生学習支援事業							
補助事業者名	狭山市							
実施場所	狭山市内中学校(8箇所)							
補助事業の成果の目標	<p>本市の中学生の学力は、平成25年度までは全国及び埼玉県の平均と同程度であったが、平成26年度及び平成27年度については下回ってきているという状況にあり、また、家庭学習の時間も全国及び埼玉県に比べ短いという結果が出ている。これらを踏まえ、中学生の確かな学力の定着及び向上が課題となっている。</p> <p>そこで、学校の学習指導を補完するとともに、家庭学習の励行を促すため、各中学校区毎に生徒が学校の授業以外で学習できる環境を整え、多くの生徒の参加を促す。</p> <p>これにより、生徒の学習への興味・関心をさらに高め、分からないところや学習の躓きを無くしていくとともに、多くの生徒が家庭学習の習慣を身につけることで、参加する生徒一人一人の学力の定着及び向上を図る。</p> <p><b>【参考指標】</b> 市内中学校の生徒数:3,665人(平成29年1月現在)</p>							
補助事業の内容	学校の授業以外で生徒が学習する機会を設け、学習活動を支援する。							
補助事業の始期及び終期	基金の造成:平成27年度から平成37年度 基金の処分:平成28年度から平成37年度							
事業費及び交付金額	基金造成額(A)					基金 処分額 (B)	基金 残額 (A)-(B)	継続事業 に要した額
	年度	交付金	市町村 費等	その他	運用益			
		円	円	円	円	円	円	円
27	16,106,000				16,106,000	0	16,106,000	0
28	14,000,000				14,000,000	7,470,000	22,636,000	7,476,300
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>〔補助事業の成果及び評価〕 中学生学習支援事業実施状況より、1回当たりの参加生徒の平均が1学期8.1人に対して、2学期7.6人、3学期5.6人であるため、市内中学生の参加が継続されていると判断する。</p> <p>また、学力の定着について、市内中学校教諭へのアンケートから、家庭学習の習慣が身についてきたとの意見が7割以上、定期テストに向けての勉強が計画的にできているとの意見が7割以上、成績が伸びたとの意見が6割以上であることから確かな学力及び家庭学習習慣の定着が図られたと判断する。</p> <p>〔地域住民への周知の実施状況〕 生徒及び保護者向けの募集案内、狭山市公式ホームページ、基地周辺対策を示した「狭山市の基地対策」に掲載</p>							
事業の改善措置及び今後の対応	無							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							